

自然環境局自然環境整備担当参事官室

1．事業の概要

(1) 温泉の適正利用の推進に関する検討調査

国民の温泉に対する関心が依然として高く、いわゆる本物志向も強まっていることから、温泉の禁忌症、利用（入浴・飲用）上の注意事項及び温泉利用施設における温泉成分等の分析手法及び飲用利用基準の在り方等について最新の知見を収集し、温泉の掲示の適正化等を推進するための基礎資料とする。

(2) 温泉資源の保護対策等に関する検討調査

我が国における源泉総数が増加する中で自噴泉が減少傾向にあるなど温泉資源の制約が懸念されていることから、温泉地におけるゆう出量の経年変化の動向及びその変動要因を探ること等により、温泉資源の有効な保護対策手法の立案のための基礎資料とする。

2．事業計画

(1) 平成17年度～平成19年度

(2) 平成18年度～平成20年度

3．施策の効果

温泉に係る適切な情報提供及び温泉資源の保護対策を同時に推進することにより、我が国の貴重な自然資源である温泉を国民が安心して持続的に利用することを可能とする。

温泉の保護・適正利用対策の概要

旅行者の動向

(出典:(財)日本交通公社「旅行者動向2005」)

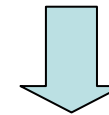
行ってみたい旅行のタイプ(複数回答)

1位	温泉旅行	(52.4%)
2位	自然観光	(48.2%)
3位	グルメ	(41.8%)
4位	歴史・文化観光	(39.4%)
5位	海浜リゾート	(38.7%)



掲示は大丈夫?

資源は大丈夫?

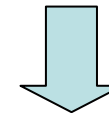


我が国の源泉数の推移

	昭45	平16	比較
利用源泉(自噴)	5,354 孔	5,120 孔	約 4%減
利用源泉(動力)	7,028 孔	13,805 孔	約 2.0倍
未利用源泉(自噴)	1,309 孔	2,989 孔	約 2.3倍
未利用源泉(動力)	1,745 孔	5,730 孔	約 3.3倍
計	15,436 孔	27,644 孔	約 1.8倍

- ・温泉の利用上の注意事項
- ・飲用利用基準等 の検討

- ・ゆう出量の経年変化と
その要因を調査



適切な情報提供 = 安心して利用できる!
保護対策の推進 = 持続的に利用できる!